

# 社会資本総合整備計画

## 和気駅周辺地区都市再生整備計画

平成 25 年 3 月 29 日

岡山県和気町

# 都市再生整備計画(第5回変更)

わ け え き し ゅ う へ ん ち く  
和気駅周辺地区

お か や ま け ん わ け ち ょ う  
岡山県 和気町

平成25年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岡山県	市町村名	ワケチヨウ 和気町	地区名	ワケエキシヨウチク 和気駅周辺地区	面積	17.9 ha
計画期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度
交付期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度

### 目標

大目標:和気町の玄関口である和気駅周辺地区の交通結節機能の向上による高齢化社会に対応した生活交流拠点の創造

目標1:和気町の玄関口にふさわしい賑わい形成

目標2:安全快適な歩行環境整備による市街地内の回遊性・滞留性の確保

目標3:和気駅南北市街地における役割分担及び連携による鉄道利用者の増加促進

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

##### ○モータリゼーションの進展による日常生活圏の拡大と駅前の空洞化

本町は、岡山県の東部、県庁所在地の岡山市から北東約32kmに位置し、JR山陽本線(和気駅)をはじめ、山陽自動車道(和気IC)及び国道374号、県道岡山赤穂線等の幹線道路が通る交通至便地であり、広域交通の要衝として発展してきた。しかしながら、1970年代に入り、モータリゼーションの急速な進展などにより、日常生活圏が飛躍的に拡大したと相まって、産業構造の変革や消費者ニーズの多様化、購買行動の広域化が急速に進み、町の玄関口であり最大商業集積地であった駅周辺地区の空洞化が顕著となり、「街の顔」としてのみならず町全体のイメージ低下をも招いており、これらへの対応が課題となっている。

##### ○和気駅北口における役割の再整理の必要性

公共交通全盛期の和気駅北口は、駅前に近接する商業地としてだけでなく、中央公民館や町立図書館等の公共施設、銀行・商工会館等の公益施設の立地する中心市街地として機能してきた。公共公益施設は現在も都市施設として機能しているものの、商業面では高齢化や後継者不足から空き店舗が増加するなど機能低下が顕著である。また、交通結節機能もモータリゼーションの進展に対応した都市基盤施設が未整備であるため、市街地内での安全性や利便性の確保に対応し切れておらず、将来を見据えた和気駅北口の役割の再整理が必要となっている。

##### ○和気駅南口における市街化の進行

和気駅南口の国道374号沿道は、モータリゼーションの進展に伴い、ロードサイド型店舗の立地が進行している。また、駅南口に整備されたロータリーの隣接部等、駅周辺に存在する低未利用地では、近年住宅等の建設が相次ぐなど、宅地化が進行している。

##### ○合併に伴う地区の位置づけの変化とまちづくり方針変更の必要性の増大

旧和気町は、岡山県東部地域の中核都市を目指す中において、和気駅北口の駅前市街地を「町の玄関口」として、平成11年に策定した「中心市街地活性化基本計画」に位置づけ、再生と活性化を図るべく都市計画事業等の事業化に向けて取り組んできたところであるが、県東部地域の近隣自治体が大規模な合併により市へ昇格する中で、平成18年3月、和気町は旧和気町と旧佐伯町との2町による小規模な合併を選択したことから、県東部の中核都市を目指すという町の発展計画を見直さざるを得なくなった。しかし、新町建設計画を策定するにあたって、当該地区は町最大の交通結節機能を有する町の玄関口であるという認識のもと、駅周辺地区を新町の交流核として位置づけることとした。更に、中心市街地内の商業地においては、想定外の規模とスピードで廃業や転業が進み、当初のまちづくりの方向であった店舗を集約した商業集積エリア設定の必要性が著しく低下したため、駅を中心とした周辺市街地を対象に、高齢化社会に対応した「生活や交流を支援するまちの形成」へ方針を見直す必要がある。

### 課題

##### ○駅周辺地区の役割分担と連携強化による街の吸引力向上

和気駅北口の市街地内には、町民ギャラリーや町立図書館、銀行・商工会館等の公共公益施設をはじめ、国指定重要文化財の旧大国家住宅等の文化的資源が立地する一方で、南口は山陽自動車道と和気IC、国道374号等、広域アクセス性を備えており、南北自由通路を活かした駅周辺市街地における機能分担及び連携強化により、交流拠点としての吸引力の向上が必要である。

##### ○和気駅北口における安全な歩行者環境の確保

和気駅北口の交通広場やアクセス道路では、車輛と歩行者が輻輳しており、近未来の超高齢化社会の到来に向けた歩行環境の改善が課題である。

##### ○和気駅北口における都市機能の更新と魅力的空間の形成

和気駅北口における商店街では、高齢化や後継者不足から空き店舗が増加していることから、高齢化等将来を見据えた都市機能への更新と、町民や来街者の交流を促す町の玄関口としての魅力的な空間形成が必要である。

##### ○和気駅南口における計画的な土地利用誘導

和気駅南口においては、駅へ至近でありながら大規模な空き地を含めた低未利用地が存在しており、駅周辺地区の将来方向を踏まえた計画的な市街地への誘導が課題である。

##### ○鉄道の利用促進

自家用車による移動時の自由性、快適性の高さに対し、様々な公共交通機関の充足度の低さ、さらに町人口の過疎化等から鉄道の利用者は年々減少しつつある。しかし、鉄道は、来るべき超高齢化社会にあつて交通弱者の増大や鉄道の特性である定時性や大量輸送性、安全性等を考えた場合においても極めて貴重な交通機関であることをふまえ、便数を維持、さらには増便を図るため鉄道利用の促進は町をあげて取り組むべき大きな課題である。

### 将来ビジョン(中長期)

新町建設計画におけるまちづくりの基本方針として、都市基盤・生活環境については、「身近な生活環境の整備を進めるとともに、広域交通網の整備や新町全域にわたる交通手段の確立、情報通信基盤の整備や若者定住対策など、定住や交流のための基盤整備や施策の推進を行い、快適で住み良いまちの創造を目指す」としており、将来の都市構造として新町の中心部を「核」、南北に縦断する国道374号を「都市連携軸」と位置づけ、町内の核や周辺の市町との交流と連携を促進することとしている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅の乗降客数	人/日	和気駅の乗降客数	和気町の玄関口にふさわしい駅前の賑わい形成を目標としていることから、和気駅の乗降客数を指標とする。	2,800	H19	3,000	H24
和気駅前市街地内の歩行者通行量	人/12h	町道明治通り線の歩行者通行量の平均値	安全快適な歩行環境整備による市街地内の回遊性確保を目標としていることから、和気駅前市街地内の歩行者通行量を指標とする。	417	H21	490	H24
南北自由通路の歩行者・自転車通行量	人/12h	和気駅南北自由通路の歩行者・自転車数(12時間平日) (AM7:00～PM7:00)	町の玄関口としての賑わい形成を目標としていることから、和気駅南北自由通路の歩行者・自転車通行量を指標とする。	508	H19	600	H24

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1:和気町の玄関口にふさわしい賑わい形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの玄関口にふさわしい魅力ある景観を形成し、町民や来街者の交流を促進する滞留空間を確保する。</li> <li>・和気駅北口における既存の公共公益施設、地域資源を活かして回遊性を高め、交流を促進する。</li> </ul>	<p>道路事業(緑地帯整備)(基幹事業)                      地域創造支援事業(アーケード取払い事業)(提案事業)                      高質空間形成施設(通路シェルター整備)(基幹事業)</p>
<p><b>整備方針2:安全快適な歩行環境整備による市街地内の回遊性の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前への車輛交通の輻輳改善や円滑な通行の確保とあわせ、歩行者の安全性を確保する。</li> <li>・駅へのアクセス道路や生活道路について歩行者や自転車の安全性を確保するため歩道を設置する。</li> <li>・駅への円滑なアクセスを図るための町道の新設や交差点改良・ポケットパークの整備等を行う。</li> <li>・市街地内の回遊性を促進するため、駅前や主要な交差点に情報板を設置する。</li> </ul>	<p>道路事業(道路の新設及び拡幅、改良)(基幹事業)                      道路事業(交通広場整備)(基幹事業)                      地域生活基盤施設整備事業(ポケットパーク整備)(基幹事業)                      地域生活基盤施設整備事業(案内板)(基幹事業)</p>
<p><b>整備方針3:駅南北の機能分担と連携による鉄道利用者の増加促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和気駅の南北市街地の連携強化とともに、駅利用の利便性向上を図り、鉄道利用者の増加を促進する。</li> <li>・和気駅南口において、広域アクセス性を活かした駐車場を整備し、北口の既存駐車場の交通負荷を低減して市街地内の交通混雑を解消する。</li> <li>・和気駅北口における基盤整備と併せて、町民の交流の核となる施設を整備することにより、周辺街区における民間による施設整備を誘導し、生活拠点の形成を実現する。</li> </ul>	<p>地域創造支援事業(南北自由通路改修)(提案事業)                      和気駅南口駐車場整備事業(関連事業)</p>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業終了後の継続的なまちづくり活動について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊性向上の核となる地域資源(国指定重要文化財 旧大国家住宅)の活用について、まちづくり活動や取り組み内容を地域住民や過去に訪れたことのある来訪者も交えて議論し、まちづくり活動計画としてとりまとめし、事業終了後のまちづくり活動へとつなげる。</li> </ul> </li> <li>○交付期間中の計画管理について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付期間が最長の5年にわたっており、目標達成に向け交付期間の中間段階にモニタリングを実施し、事業効果の発現状況を確認する。</li> </ul> </li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

和気駅周辺地区(岡山県和気町)

面積

17.9 ha

区域

和気町福富及び衣笠、尺所の各一部

